

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録（きぼうホーム）

事業所名	きぼうホーム		
開催日時	令和 8 年 3 月 18 日（水） 14：00～15：00		
開催場所	ホーム ガーベラ		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	2 名	欠席者：市町村担当職員
	入居者	3 名	
	入居者ご家族	2 名	
	地域の関係者	1 名	
	福祉に知見を有する方	1 名	
	市町村担当職員	0 名	
会議内容			
1. 自己紹介			
2. 地域連携推進会議の目的・役割について			
3. 施設・事業説明			
4. 施設見学			
意見・助言など			
(意見や質問として)			
・利用者さん同士のトラブルや関係性、また健康面を考慮して、ホーム間で利用者さんがホームを替わる事は可能か？			
⇒健康面で不安要素が生じた時には宿直者が滞在するホームへ移動する事も可能。自立度を考慮してホームを替わってもらふ事もある。また、健康状態、身体状態、加齢に伴い介護が必要になった場合等には同法人内に入所施設や高齢者施設があり、必要に応じてサービスの移行も提案している。			
・以前、三原の施設で刃物を使用した傷害事件があったが、夜間にカットとなってトラブルになった時には職員が居ない場合にはどうしたらよいのか不安になる。			
⇒グループホームを利用開始時には保護者、本人、各関係機関と連携ししっかりとアセスメントを行っている。アセスメントの段階でグループホームでの生活が可能かどうかを見極め、慎重に判断している。また、トラブルが発生した際には固定電話を各ホームに設置しており、ワンタッチで職員に繋がり連絡が出来る様になっている。			
・もし、利用者が入院となった場合にはどうなる？長期入院になった場合にはホームを出ていかないといけない？			
⇒入院時の同意書等のご家族にお願いをする必要があるが、入院中の経過、病院との連携などは職員が対応をしてる。長期入院になった場合、退院の目的が立たない場合や医療行為が必須となりホームでの生活が困難となる場合には退所となる事もある。しかしその様な場合でも関係機関等と連携して次の生活の場についてはサポートする。			
・高齢施設の会議に出席した事があるが、トラブルの事例を共有されていた。事例を挙げる事で注意すべき点が明確になり、具体的な取り組みが行われている事も伝わりやすくなる為、次回の地域連携推進会議では事例を挙げて良いと思う。			
⇒次回の会議では事例を用いながら、トラブルや事故等の事例から取り組み内容も伝えていける様にする。			